

在宅重症心身障害児（者）の医療的ケア等に関する調査

～アンケートへのご協力をお願い～

日頃から千葉市の障害者施策にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
千葉市では、在宅の重症心身障害児（者）の方及び介護をされているご家族の方の生活状況や医療的ケアの必要性について把握し、今後の施策推進に役立てるためのアンケート調査を実施することにいたしました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理したうえで、今後の施策の検討を行う基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようお願いいたします。

平成25年5月

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

ご記入にあたって

- ① 回答はあてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答を記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ② この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。
- ③ 特に時点等の記載がない場合には平成25年5月1日現在の状況をお答えください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、**平成25年5月24日（金）まで**に、ポストに投函してください。

お問い合わせ 千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害企画課

電話：043-245-5174 FAX：043-245-5630

問1 1 主に医療的ケアを担っている方が何らかの理由によりケアをできない場合、かわりにケアを依頼できる方について（あてはまるもの全てに○）

1. 同居の家族（父・母・兄弟姉妹・祖父母など）
2. 別居の家族（兄弟姉妹・祖父母など）
3. 別居の親族（おじ・おばなど）
4. 訪問看護師に依頼している。
5. ホームヘルパーに依頼している。
6. 短期入所（ショートステイ）を利用している。
7. 知り合いに依頼している。
8. 代わってもらえる方がいない。
9. その他（具体的に _____)

問1 2 問6で回答いただいた日中の居場所への送迎は主に誰が行っていますか。（あてはまるものひとつに○）

（1）行き

1. 主たる介護者
2. 主たる介護者以外の家族
3. スクールバスや事業所の送迎車
4. その他（ _____)

（2）帰り

1. 主たる介護者
2. 主たる介護者以外の家族
3. スクールバスや事業所の送迎車
4. その他（ _____)

問1 3 医療的ケアがあるために事業所等の送迎サービスを断られたことがありますか。（あてはまるものひとつに○）

1. ある
2. ない
3. 送迎サービスのある事業所等を利用したことがない

3 介護者の休息について

問1 4 主たる介護者の休息について、短期入所を利用するなどして、丸1日介護から離れることのできた直近の日はいつですか。（あてはまるものひとつに○）

1. 1週間程前
2. 1ヵ月程前
3. 2ヵ月以上前
4. 半年以上前
5. 1年以上前
6. 介護を初めてから休めていない

問15 現在の短期入所の利用頻度について（あてはまるものひとつに○）

1. 週1回程度 2. 月1回程度 3. 数か月に1回
4. 年1回 5・その他（日に1回程度）

問16 短期入所を利用する場合、平均して連続何日程度利用していますか（あてはまるものひとつに○）※1泊を1日として回答してください。（例：5月1日の昼から5月2日の朝の利用の場合は1日）

1. 1日 2. 2～3日 3. 4～5日
5. 6日以上

問17 今後、介護を続けていくためには、どの程度の頻度で短期入所等を利用できることが理想だと思いますか。また、何日以上連続で利用できることが理想だと思いますか。実際の利用が可能かどうかにかかわらず、必要と思う回数をお答えください。（あてはまるものひとつに○）

（1）頻度

1. 週1回程度 2. 月1回程度 3. 数か月に1回
4. 年1回 5・その他（日に1回程度）

（2）連続利用日数

1. 1日 2. 2～3日 3. 4～5日
5. 6日以上

問18 主たる介護者について、1日の間に介護から離れることのできる時間が、平均してどのくらいありますか。（あてはまるものひとつに○）

1. 3時間以上 2. 1～2時間 3. 1時間未満 4. ほとんどない

問19 問18で回答いただいた一日の間に介護から離れることのできる時間について、どのように感じますか。（あてはまるものひとつに○）

1. とても短い（このままだと介護をつづけることが難しい。）
2. 少し短い（現時点では介護をつづけることは可能だが、将来を考えると不安である。）
3. 短いとは感じない

問20 日中の居場所への送迎サービスがあれば、主たる介護者について一日の間に介護から離れることのできる時間がどの程度長くなりますか。

分程度

※既に行き帰りともに送迎サービスを利用している方は記入しないでください。

4 サービスの利用について

問21 利用しているサービスについて（あてはまるもの全てに○）

- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 居宅介護 | 2. 重度訪問介護 | 3. 行動援護 | 4. 包括支援 |
| 5. 生活介護 | 6. 児童発達支援 | 7. 放課後デイ | 8. 短期入所 |
| 9. 移動支援 | 10. 訪問看護 | 11. 訪問リハビリ | 12. 医療受診 |
| 13. 在宅医療 | 14. その他（ | | ） |

問22 送迎ができないため利用を諦めたサービスはありますか。（あてはまるものひとつに○）

1. ある（サービス種別
2. ない

問23 現在、必要だが足りないと感じているサービスはありますか。またその理由はなんですか（あてはまるもの全てに○）

- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 居宅介護 | 2. 重度訪問介護 | 3. 行動援護 | 4. 包括支援 |
| 5. 生活介護 | 6. 児童発達支援 | 7. 放課後デイ | 8. 短期入所 |
| 9. 移動支援 | 10. 訪問看護 | 11. 訪問リハビリ | 12. 医療受診 |
| 13. 在宅医療 | 14. その他（ | | ） |

<理由>

5 医療的ケアが行えるサービスについて

問24 平成24年4月から、研修を受けたヘルパー等（短期入所や生活介護の介護職員等含む）の介護職員が喀痰吸引や経管栄養等の医療的ケアを行えるようになったことを知っていますか。（あてはまるものひとつに○）

1. 知っている
2. 知らない

問25 医療職でないヘルパー等による喀痰吸引等の医療的ケアを利用したいと思いませんか。（あてはまるものひとつに○）

※問7で「1. 吸引」又は「3. 経管栄養」と回答された方のみお答えください。

1. 利用したい
2. 利用したいと思わない

問26 ヘルパー等による医療ケアを利用したい理由について（あてはまるもの全てに○）

※問25で「1. 利用したい」と回答された方のみお答えください。

1. 主たる介護者等の休息を確保できる
2. 介護者等の病気等緊急時に対応できる
3. 馴染みの介護職員に医療的ケアを実施してもらいたい
4. その他（ ）

問27 ヘルパー等による医療ケアを利用したいと思わない理由について（あてはまるもの全てに○）

※問25で「2. 利用したいと思わない」と回答された方のみお答えください。

1. よく分からないので心配
2. 事業所が少なく利用したいときに利用できない
3. 医療職以外に医療的ケアを依頼することに抵抗がある
4. その他（ ）

問28 現在医療的ケアが行える短期入所は、医療型入所施設での短期入所だけですが、旧療護施設等の福祉型施設での短期入所の介護職員も、研修を受けることによって喀痰吸引等一部の医療的ケアを行うことが可能です。このような医療的ケアを行うことのできる福祉型施設での短期入所を利用したいと思いませんか。（あてはまるものひとつに○）

1. 利用したい
2. 利用したいと思わない

